

平成30年度 瑞浪市第1層協議体高齢者生活支援検討会議 会議録要旨

- 会議の日時：平成31年3月20日 13時30分から14時40分まで
- 場所：瑞浪市役所西分庁舎入札室
- 出席者：塚本恵子 伊藤明芳 西尾栄子 渡邊郁美 小栗育子 佐藤好弘 永治昌代
前川新吾 土本千晴 浅川信之 加藤誠二 梅村やよい
事務局：藤本敏子 足立寛聡 小木曾友美
- 議事：高齢者の日常生活等の状況・課題について意見交換
 - ・自動車を運転する独居の高齢者が以前に比べて多いと感じる。
 - ・コミュニティバス、デマンド交通、移動販売が利用できる地域は良いと思う。
 - ・市内でも、地区により高齢者の課題が異なるので、ニーズの把握が必要である。
 - ・交通などが不便な場合は、地域の支え合いが大切である。
 - ・将来、乗り合いタクシーができればと思う。高齢者が自由に出歩ける仕組みがあると良い。
 - ・在宅介護の支援は、介護をする家族の負担が大きいの所以需要である。
 - ・認知症などに理解があると、ありがたいと感じる。認知症の方やその家族には、地域がやさしくしてほしい。
 - ・日ごろ、地域で見かける人については、住民が気にかけている地域がある。
 - ・陶町では、見守りができていると思う。
 - ・瑞浪駅周辺では、地域のつながりが、はっきりしていない。陶町、稲津町では、地域のつながりがあると思う。